

# 2019年春

## 「聖霊による生活刷新セミナー」

(5/5～6/30) へのお誘い

「渴きを覚えているものは皆、水のところにくるがよい。」  
(イザヤ 55 章 1 節)



四谷の集いでは毎年、春と秋に「聖霊による生活刷新セミナー」を行い、今までに大変多くの方が、セミナーを通して貴重な恵みを受けてきました。それは神様との新しい個人的な親しい出会いであり、祈りの深まりであり、信仰生活がより生き生きとしてわたしたちの生き方が変えられるという体験です。

8週間行われるセミナーは、日曜日に皆で過ごす2時間のプログラム、

- ・心から神様をたたえ「賛美」を歌う 1時間
- ・セミナーのテキストに基づいた「講話」 30分間
- ・小グループによる「分かち合い」 30分間 で構成されています。

また、月曜日から土曜日は、自宅でテキストに従って「御言葉の上に祈る」祈りをします。初めての方でも小グループで進んでいきますから、安心してご参加ください。神様との新しい出会いを求めて 一歩足を踏み出してみませんか。

セミナーへの参加を心からお待ちしています。

※ ご質問等がございましたら、  
事務所までお問合せください。

奉仕者不在の場合があり、  
即日や当日での返答は

お答えできない場合があります。ご了承下さい。

聖霊による刷新事務所「ヒスロ」  
〒160-0002 新宿区四谷坂町1-12 SKハム103  
TEL:03-3357-8138 FAX:03-3357-9504  
メールアドレス [ccrj-hsro@sol.dti.ne.jp](mailto:ccrj-hsro@sol.dti.ne.jp)  
ホームページ [www.sol.dti.ne.jp/~hsro](http://www.sol.dti.ne.jp/~hsro)

## ～プログラム～

5月 5日	セミナー説明会
5月 12日	第1週 神の愛
5月 19日	第2週 救いのみわざ
5月 26日	第3週 新しい生命
6月 2日	第4週 聖霊の満たしを受けるために (回心)
6月 9日	第5週 聖霊の満たし
6月 16日	第6週 聖霊のうちでの成長
6月 23日	第7週 キリストへの変容

このセミナーは、赤波江神父（パウロ会）のご指導の下に行われています。

期 間： 5月 5日（日）～ 6月 30日（日）

※ セミナー後、6/30(日)10:00～16:00黙想会を行います。  
その黙想会をもって、セミナー終了となります。

黙想会までご参加下さい。

会 場：イエズス会修道院 岐部ホール309号室

6/30の黙想会は305号室

時 間：毎日曜日 17:00～19:00

6/30の黙想会は10:00～16:00

黙想会の後309号室で四谷の集いがあります（参加自由）

費 用：参加費2,000円、別途テキスト代500円を頂きます。

条 件：1. 原則として洗礼を受けた方

2. セミナー期間中、毎週日曜日に参加できる方

※セミナー説明会（5/5）には必ずご出席ください。

また、セミナーのためのよい準備となりますので、できるだけ  
セミナーの前から祈りの集い（賛美）に参加なさってください。

※ セミナーは、途中からの参加はお受けしていませんので、期間  
中にやむを得ず欠席が予定される方は、事前にご相談ください。

申 込 み：「四谷祈りの集い」の会場受付

締め切り：5月 5日（日） 説明会当日



## セミナー参加者の声

～8週間のセミナーを終えた証です。皆さん、たくさんのお恵みをいただいています～

セミナーの感想を頼まれ、軽く引き受けたものの言行が進みません。ロザリオを唱え祈りました。セミナー参加の声を参考にしていると、セミナー修了後からできずに困っていた「聴く祈り」の解決が与えられました。ミサに預かった後、15分間主の前に座って祈ることが日課になったという内容で、これなら私もできます。

セミナー中は、何度も試練に会いましたが、祈ってひとつひとつ解決されました。特に20代から苦しめられていた慢性湿疹の痒みから完全に開放されました。また、聖霊の満たしの準備のために屋上で特別に告解を受けさせてもらったのですが、その時、恨みを持っていた二人と和解でき信頼関係を取り戻すことができました。セミナー前は、按手や異言の祈りに疑問を持っていましたが、今では、今年のクリスマス为目标に知人に頼まれていた祈りをロザリオと異言で本気で祈っています。今年のクリスマスが楽しみです。

(2011年春のセミナーに参加)

「教える人がいなければ、聞くことができない」と言われますが、私も、昨年9月15日ある方から『秋のセミナー』へのお誘いを受けました。7週間毎回続けて参加できるだろうかと不安でしたが何とか行かれるかもしれないという気持ちで申し込みました。毎週大事にしたことは「セミナーの手引き新生への門出」にそって忠実に歩むことでした。共に祈り、体験談を聞き、小グループでの分かち合い、を通して仲間が心一つに結ばれていくのを感じました。

5週目、待ちに待った【聖霊の満たし】すべてを主に委ねリラックスして聖霊に満たされるように祈っていただきました。隣人のためにこんなに真剣に聖霊で満たされるように祈ってくださる。それは大きな驚きでありそれを通して主の愛に生かされて生きる人の美しさを目の当たりにし感謝と喜びでいっぱいでした。

私は恵みとして祈って欲しかったことは「聖霊の実である 愛、喜び、平和、寛容、親切、誠実、善意、自制」を頂き日々それを生きるものになりたいということでした。しかし、リーダーの方が異言で祈ってくださっている間、私の心の中で声に出せない叫びの祈りは【主よ、私の受けたすべての傷を癒してください】というものでした。

ある時イエス様は手のなえた人に向かって「手を伸ばしなさい」足のなえた人に向かって「立って歩きなさい」目の見えない人に向かって「開け」と言われ、癒しを心から望む人を癒してくださいました。

私もあの時 本当に癒されましたと実感しております。以前より心はもっと開放され他の人がどう思うかに囚われなくなり、あれから毎日心の中に奏でる音楽は ♪愛、喜び、平和、寛容、親切、誠実、善意、自制というメロデーが響き、私を聖霊が運んでくださっているようです。ただ「主のみ旨が今日、私の心の糧、命となりますように」と祈りつつ過ごせるようになりました。

セミナーに参加し本当に良かったと思います。ますます賛美と感謝の歌を主に捧げたいです。 (2009年 秋のセミナーに参加されたシスターの証しです)

大きな気付きの一つとしては、今はもう病床で話が出来ない母のことでした。

母は、地元の教会の聖歌隊でとても献身的に奉仕していました。ミサ中に賛美し指揮をする母の顔はキラキラと輝いていましたが、ときどき興奮し高ぶることがあったのです。その時の母を思い出すのは辛かったのですが、ここで賛美をしている時に突然気づかされたのです。これまで神様がどんなに母を愛してくださっていたかを。その母がどんなに家族のために祈ってきてくれたかを。そして母は、あのとき間違いなく聖霊に満たされていたのだと……。それから、母とここで一緒に賛美出来たらどんなに喜んでくれたことだろう、あの時理解してあげられなくてごめんね…と、もうあふれる涙を抑えることは出来ませんでした。私は、母のとりなしの祈りのおかげでここに呼ばれたのです。

二つ目は、「悔い改めて福音を信じる」＝「イエスに立ち帰る」ということに関してです。私は、セミナー中に「このセミナーの方式はある種洗脳みたい?!」という大胆な疑問を抱きました! こう思うだけでも大変な罪なのでは? と不安でしたが、ヘルパーの方は優しく「疑いを感じることは悪いことではなく『あれっ?』と思えることを素直に質問出来ることがお恵みです。神様に直接聞いてみるといいですよ。」と言って下さいました。そこで、毎日の黙想の中で神様に質問しました。すぐには明確な応えはありませんでしたが、数日後のミサの途中「何か得体のしれないものではなく、他でもない天のお父様に洗脳されるのであれば、それは喜びだ!」と思う自分がいました。

振り返れば、私は幼い頃から自分の名前・性別などを受け入れるのと同じくらい「私は神様の子」と自然に受け止めてきました。そんな私も、思春期の頃からほとんど教会に行かなくなりました。大人になってからも自分の罪に怯え告解やミサを避けていましたが、偶然教会の近所に越したことから再び通い始め、決死の思いで告解を定期的に数回受け、この数年をかけてゆっくり「イエスに立ち帰る」準備をさせていただいてきたことに気付きました。そしてその通過点としてこのセミナーが用意されていたのです。私はこうしてそれまでの罪を赦して頂き、賜物として聖霊を受けました。

幼児洗礼だった私は、始めは「(聖霊の満たしによって) 今度こそ自分の意志で洗礼を受けるのだ!」と意気込んでいましたが、今ではそれは間違っていたとはっきり分かります。私の意志など関係なく、主がご計画の中で愛をもって導いて下さったのです。そしてそのご計画はまだまだずっと続いています。こんなに小さな私にも心を留めて下さる天の父への感謝と喜びに今も満たされています。

(2012年春のセミナーに参加)

“おかえり！”・・・まだセミナーに参加するかどうかをはっきりと決めた訳でもなくふらっと参加した説明会の初日、私の心に響いたのは、当日の司会の方の「おかえりなさい」というひと言でした。知人のシスターから誘われ何気なく参加したのですが、その日、賛美の歌の輪につつまれ、懐かしく感じられるメロディがからだを駆け巡っていく中で、私は心の中で何度も「ただいま！ただいま！」と子どものように繰り返し応えていたのを覚えています。そして、何かよく分からないけれどもこれまで抵抗していたものを手放して素直になったとき、イエスが両手を広げて私を招いて下さっていることを強く感じ、心の中の何か頑ななものが解けて流れ出るように涙が溢れ出てきました。その「ただいま」から8週間、気が付けばあっという間のセミナー期間でした。

不思議なことなのですが、今回セミナーに参加することになった流れを振り返ってみると、いくつかの出会いと招きがものすごいタイミングであったと感じています。それも、身近で具体的な方やかかわりをとおして...。今から思うとそれは、頑な私の殻をやぶろうと根気強く働きかけ、私が心のドアを開け放つよう辛抱強く待って下さった神さまの親心だったのだなあと感謝の気持ちでいっぱいです。そして、セミナーを終えた今、イエスというブドウの木に活き活きとつながるよろこび！と平安♪が私の中にしっかり根を下ろして広がっているのを体感しています。また、一人ではなく、祈りの共同体に連なる中で祈り、特に異言での祈りの響きの中に交わった時、神さまが喜んで働かれているのをびんびんと身にしみて実感しました。そのことを今回、リーダー方をはじめとする四ツ谷の刷新仲間へ祈って頂く中でダイレクトに感じたことは、豊かな恵みであった、と心から感謝しています！

この8週間は、日毎そして週毎の一つ一つの段階をへて、聖霊の満たしを受けるまでの準備期間があり、またその後の祈りと分かちあいの中で、更に自分自身を完全に主に委ねたいと望んでいる意志をも知ることができました。そして今もなお、まだまだ霊的に発展途上の身を楽しみつつ、日々イエスとともに生かされていることの喜びを味わっています。この聖霊によって新たにされたいのちの炎を燃え立たせるべく、これからももっともっと神さまを賛美していきたいです！！有り難うございました～♪アレルヤ～♪

(2010年春のセミナーに参加)

今回、夫婦で参加させて頂きました。

私達は受洗前ですがリーダーの方々にご理解とご協力を頂き感謝致します。求道者として所属している教会の入門講座や信仰講座では学ぶ事の出来ない祈りと信仰を考え、求め、学び、体験する事が出来ました。

セミナー中の毎日の祈りを始めた1週間は、ざわざわする心と落ち着きのない自分が浮き彫りになり「私に出来るのだろうか？」と、とても不安でした。その不安もリーダーとグループの仲間の祈りによって解消され、祈り合う大切さを教えて頂きました。心の妨げがなくなると、神と対話出来るようになり神への感謝が溢れてきました。そして神への賛美。

祈りの中で主の御臨在を感じ、セミナーに参加する事が出来た喜びは日に日に大きくなってゆきます。何より、この一人一人の喜びをリーダーと仲間とで分かち合う事が出来るのです。また家では夫と共感したり、神に期待したり、時には励まし合ったり、今まで感じた事の無かった「私と夫との間に神が共におられる」という絆ができました。洗礼を授かる前に素晴らしい準備期間をありがとうございます。神のいつくしみ深い大きな恵に感謝いたします。アーメン

(2015年秋のセミナーに参加)

## “ 聖霊による生活刷新セミナーに参加して ”

昨年の夏に大きな挫折を体験して主に立ち返って祈ることの大切さに気づいたものの、忙しくて祈れない、旅行に行くから祈れない、悩み事で心がいっぱいになって祈れない・・・自分の周りには祈りの障害になるものばかりで、なかなか祈りを習慣づけることができませんでした。そんな時に友人が勧めてくれたのがこのセミナーでした。

セミナーが始まった4月から、朝一番のミサに与った後に15分間毎日の御言葉を黙想しながら主の前に座って祈るといのが日課になりました。働き始めた職場が忙しくて、夜遅くまで職場にいるような日々でしたが、なぜだか夜帰るのがどんなに遅くても朝6時には目が覚めて楽しみな気持ちで教会に向かっていくことができました。

聖霊とはいったいどんなものだろう？なぜこのお祈りの集いに来ている人たちはあんなにも嬉しそうにしているのだろう？立ち上がって手をあげて踊るまでして賛美するのはなぜだろう？そんな疑問を感じていましたが、セミナーで祈り始めてから毎日毎日いろいろなかたちで聖霊から教えていただけたような気がします。今まで心の中の何もないと思っていたところから喜びが溢れてくるのです。だんだんともっともっと賛美したい！と思うようになりました。大好きなお父さんに抱きつきに行く子供のような気持ちです。私のことを心から愛してくださる天の父に私からも愛していることをお伝えしたいという気持ちで、力いっぱい賛美できることが大きな喜びになりました。

毎週日曜日には同じグループの方々と1週間を振り返って分かち合いをするのですが、皆一人一人違った方法で主と出会っていくのです。主が私をずっと昔から、子供の頃から、生まれた時、あるいはその前からものすごく愛してくださっていたこと。自分だけでなく、同じグループの方々や世界中の人たちみんなが主に最高に愛されているという真実を知ることができました。

実際の生活は本当に大変な2ヶ月間でした。4月から働き始めた職場は夜帰りが23時近くになることも多く、人間関係も仕事そのものも非常に困難なことばかりでした。毎日緊張の連続で体重も5キロ近く落ちました。私だけでなくグループのほかの方々も皆それぞれ問題を抱えていたり、悩みがあったりしました。もしかしたら、そういう大変さを理由にセミナーの参加をやめることもできたのかもしれませんが、けれど、それでも続けられていたのは、悪からの誘惑を退けて、助けて、導いてくださった聖霊のおかげだと思います。これから大変な一日が始まろうとしている時に、全てのあらゆることをご存知であり、万能で、私を愛してくださる主に信頼してゆだねて祈ることができると、結果として驚くような素晴らしいことが起こるとい体験を何度もしました。

満たしを受ける2週間前には、祈っているときに自分の心の中にとても広い真っ白に輝く美しい場所があることを聖霊に教えていただきました。満たしを受けた次の日に朝の祈りの中で、再びその美しい場所に降りていきました。そこはとて広くて全世界の人を招き入れられるということに気づきました。生来なかなか他者に心を開けずに閉じこもって苦しい思いをする傾向にある私にとって、自分の心に誰をも招き入れられるというのは本当に嬉しい知らせでした。

私が聖霊の満たしとこのセミナーの中で与えられたメッセージは次のとおりでした。

「この世は序章に過ぎない。この世は愛を学ぶための学校で、私たちは刻一刻と卒業に近づいて生きています。」今日一日で、生活の中のあらゆる実践から愛することと愛されることをもっと学べますように、そのために聖霊来てください、私を満たしてくださいと毎日祈っています。必要としている私に満ち溢れるほどの聖霊を与えてくださる主に感謝致します！

(2010年春のセミナーに参加)

# セミナー申し込み用紙

(ふりがな)

御名前：

年齢： 才

御住所： 〒 -

T E L : (自宅／携帯)

F A X :

職 業： 学生、主婦、会社員、その他 ( )

所属教会：

受洗の年、または、受洗して どれくらい経っていらっしゃいますか： 年

祈りの集いへの参加経験： ( あり / なし )

セミナーへの紹介者はいらっしゃいますか： ( あり / なし )

○をつけられた方は、差支えがなければ ご紹介者の方のお名前をご記入ください。

ご紹介者：

備 考：

上の個人情報については セミナーのほかには使用いたしません。

2019年5月5日までにお出してください。

---

## 領収書控え

2019年 月 日

様

参加費 2,000 円を、確かに頂きました。

聖霊による刷新事務所ヒスロ

----- きりとり線 -----

## 領収書

2019年 月 日

様

参加費 2,000 円を、確かに頂きました。

聖霊による刷新事務所ヒスロ